

月刊 介護保険

介護に携わる人の
応援マガジン

特集

地域医療・介護総合 確保推進法が成立へ

与野党共同の人材確保・処遇改善法案も提出

2014

7

vol. 221

現地ルポ—自治体編

社会福祉法人が役割を発揮して地域の再構築に貢献
三重県四日市市の取り組み

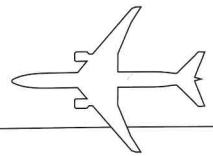
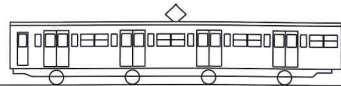
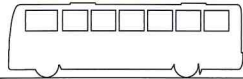
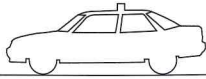
現地ルポ—事業者編

地域との連携を重視した魅力的なサ付き住宅
高齢者向け複合施設「セコムケアあざみ野」(神奈川県横浜市)

レポート

ユニークなサ付き住宅が登場！
医療連携や生きがいで差別化





第16回

街

へ出よう!

地域交通の活用で移動をスムーズに

杉並区は「もび〜る」で交通情報を集約

移動の助けとなる外出支援サービスは、介護保険が適用されないためにすべての人へは行き届かず、多くの要介護者や介護者が日常生活に不便を感じています。

長野県松本市が行った調査によると、引きこもりがちで外出機会がほとんどない要介護高齢者でも、「誰かと一緒に外食したい」という強い欲求をもっており、配食サービスを利用した会食会や在宅高齢者を対象にした外食ツアーなどの開催を望んでいます。ただし、「買い物をしたい」「実際に商品を見て選びたい」という要望をもっていながらも、行き先までの移動に援助が必要なことや食券の買い方、会計方法など、お店の利用システムがわからないために不安となり、外出をためらっているようです。

外出機会や積極的な社会参加の場があることは、高齢者のADLやQOLの向上につながり、介護予防になるということがわかっています。しかし、実際には意欲の低下などの理由で引きこもりがちなのは男性に多いため、役割や目的をうまくつくり、その人のプライドが保てるようになれば男性でも積極的に外出するようになり、それにとまらぬ消費も期待できると報告されています。

利用者にとっては、状況に応じてさまざまな移動手段を選べるのは便利なことですが、そのような情報を手に入れる手段を知らない人も少なくありません。

こうしたなか、東京都杉並区が平成19年に開設した「移動サービス情報センター」(愛称:もび〜る)は、高齢になっても障害があっても、自由に出かけることを支援する組織です。

もび〜るは、移動困難者を助けてくれる地域のタクシーやNPO法人の移動サービス、介護(福祉輸送事業限定)タクシー、福祉ハイヤー、介護保険事業者のタクシーなど、地域の豊富な支援団体とネットワークを作り上げ、杉並区が発行する福祉タクシー利用券やリフト付タクシー補助券、タクシーの運賃割引(障がい者割引)制度の紹介など、さまざまな外出の相談にも応じてくれます。

また毎年、おでかけガイドを発行し、最新の地域資源を紹介するほか、相談窓口を設けて配車センターの紹介や事業者選びに困っている人に代わり、タクシー等の空き状況を確認し、予約を取るなどの取り次ぎサービスも行っています。そのほか身体の状況に応じて必要な介助や福祉レンタカーを紹介し、車いすやストレッチャーのまま利用したい人への車種選びをアドバイスし、乗車地や降車地の確認をするなど、手厚いサービスを提供しています。

高齢化が進むなか、地域住民の快適な暮らしを支えるためには、個人が利用する医療や介護のサービスと合わせて、制度外の生活支援サービスや介護予防に役立つサービスなど、周辺サービスの充実が求められており、杉並区のような取組みが他の地域でも期待されます。



NPO法人
日本トラベルヘルパー協会
理事長 篠塚 恭一

PROFILE しのづか・きょういち

株式会社SPIあ・える倶楽部代表取締役。
平成18年にNPO法人日本トラベルヘルパー
(外出支援専門員)協会を設立。